

平成26年5月23日

保護者・地域の皆様

練馬区立光が丘夏の雲小学校
校長 遠藤 真司

東京都教育委員会による体罰の実態把握に関する公表について

日頃から本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、このことにつきまして、昨日、東京都教育委員会は、平成25年度に発生した都内公立学校における体罰の実態把握について公表をいたしました。既に新聞やテレビ等により報道されておりますが、該当する小学校、中学校および高等学校は合わせて108校ありました。誠に遺憾なことでありますが、本校にも該当する事案があり、報道の中でも具体例として取り上げられました。

ご心配をおかけしましたことを心よりお詫び申し上げますとともに、下記のとおり状況を報告させていただきます。

記

1 概要

本件は平成25年度に発生しました。担任の教員が児童を指導した際、この児童が使っている椅子を取り上げ、4日間、中腰や膝立ちの状態で授業を受けさせるなどしたというものです。

すでに学校では、同児童と保護者に対して謝罪をいたしますとともに、教育委員会に報告をいたしました。当該の教員は深く反省しており、教育委員会からの指導を受けて指導の改善に努めております。また学校側がこの件について把握することが遅れたことについて申し訳なく思っています。

2 学校の対応について

本日の朝、臨時の児童集会を開き、校長から全児童に説明をいたしました。

この事案を本校の全教職員が真摯に受け止め、二度とこのようなことがないように努めてまいります。全教職員で児童一人一人の児童に丁寧に対応し、保護者や地域の皆様から信頼される学校づくりに励んでまいります。

保護者の皆様を始め、地域の皆さまには大変ご心配をおかけいたしました。今後の本校の教育を改めてご支援くださいますようお願い申し上げます。